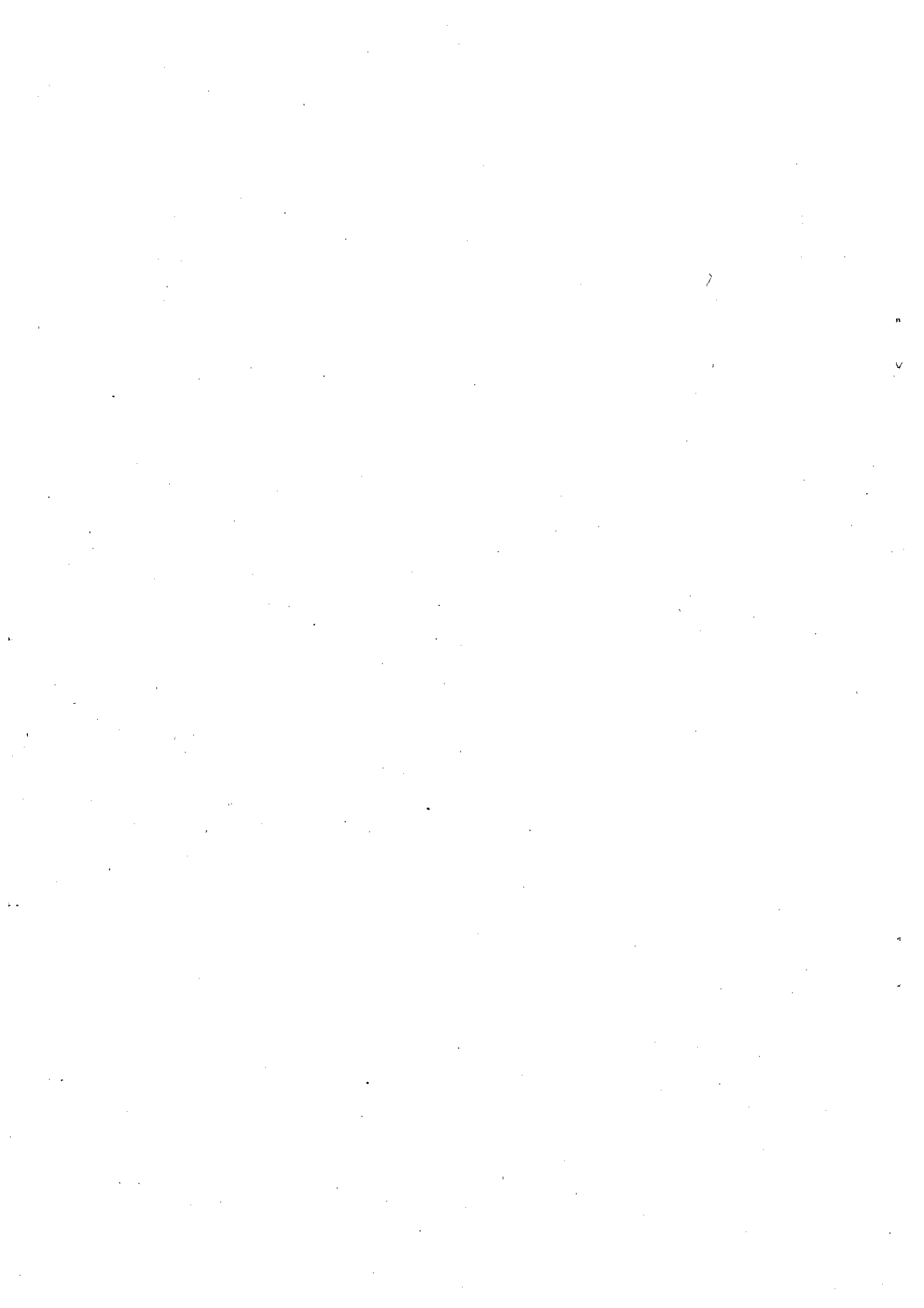


# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年12月1日)

- 1 「とっとりへウェルカニお泊まりキャンペーン事業」の開始  
について  
【観光戦略課】・・・1ページ
- 2 ジオパークのユネスコ正式プログラム化の決定について  
【観光戦略課】・・・2ページ
- 3 台湾・台南からのチャーター便の運航結果について  
【観光戦略課】・・・3ページ
- 4 タイにおける知事トップセールスの結果概要について  
【観光戦略課】・・・4ページ
- 5 副知事を団長とする交流協議団のジャマイカ派遣及び  
駐ジャマイカ日本国大使来県結果について  
【交流推進課】・・・6ページ
- 6 バードスタジアム国際交流基金の取崩しについて  
【交流推進課】・・・8ページ
- 7 第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの  
結果について  
【交流推進課】・・・9ページ
- 8 鳥取砂丘コナン空港グランドオープンについて  
【まんが王国官房】・・・13ページ
- 9 名探偵コナン鳥取ミステリーツアーの実施結果について  
【まんが王国官房】・・・14ページ
- 10 アジアトレイルズカンファレンス（ATC）鳥取大会の開催  
結果について  
【中部総合事務所・観光戦略課】・・・16ページ

観光交流局



# 「とっとりへウェルカニお泊まりキャンペーン事業」の開始について

平成27年12月1日  
観光戦略課

国が創設した「地域住民生活等緊急支援のための交付金（地域消費喚起・生活支援型）」を活用し、冬期における鳥取県への宿泊観光客の増加及び県内周遊の促進を図るため、宿泊予約サイト（楽天トラベル、じゃらん net、るるぶトラベル）で取得する「蟹取県へウェルカニ宿泊クーポン」の配布及びこの宿泊クーポンによる宿泊者全員に対して「ウェルカニ周遊割引券」の配布を実施する「とっとりへウェルカニお泊まりキャンペーン事業」を開始しました。

## 1 宿泊クーポン及び周遊割引券の概要

### (1) 蟹取県へウェルカニ宿泊クーポン

宿泊予約サイトにおいて、該当宿泊商品を予約された方を対象にクーポン方式による宿泊割引を実施する。

利用可能宿泊予約サイト	楽天トラベル、じゃらん net、るるぶトラベル
宿泊クーポン取得及び宿泊商品の予約開始日時	平成27年11月6日（金）※松葉がに漁解禁日 午前10時（じゃらん net のみ午前10時10分）
利用期間（宿泊可能期間）	平成27年11月10日（火）チェックイン分から 平成28年3月1日（火）チェックアウト分まで
対象宿泊施設	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合または（公社）鳥取県観光連盟の会員宿泊施設であって、上記宿泊予約サイトと契約している施設のうち当該クーポンの取扱いを希望する施設
対象宿泊施設数	県内95宿泊施設
割引額・設定数	・1万円以上の宿泊商品：5,000円割引：2,600予約 ・2万円以上の宿泊商品：10,000円割引：3,400予約 ・4万円以上の航空券付宿泊商品：20,000円割引：400予約 ※るるぶトラベルは20,000円割引クーポンの設定なし。

### (2) ウェルカニ周遊割引券

(1)の宿泊クーポンを利用した宿泊者全員に対して、周遊割引券（県内観光施設、土産店等で利用可能な500円割引券）を付与する。

利用期間	平成27年11月10日（火）～平成28年3月1日（火）
割引額	1枚あたり500円（1,000円以上の支払いに利用可能）
発行枚数	16,000枚（予定）
利用可能店舗数	県内271施設（観光施設、物販・土産店、飲食店、日帰り温泉等）
配布対象者	宿泊クーポンで対象宿泊施設を予約され宿泊される方全員

## 2 宿泊クーポン配布実績（11月23日現在）

（単位：予約）

宿泊 割引クーポン					
5,000円クーポン			10,000円クーポン		
設定数	配布実績 (宿泊予約数)	利用実績 (11/10～11/23)	設定数	配布実績 (宿泊予約数)	利用実績 (11/10～11/23)
2,600	2,030 (配布率78%)	498 (利用率25%)	3,400	3,201 (配布率94%)	679 (利用率21%)
航空券+宿泊 割引クーポン			全クーポン合計		
20,000円クーポン					
設定数	配布実績 (宿泊予約数)	利用実績 (11/10～11/23)	設定数	配布実績 (宿泊予約数)	利用実績 (11/10～11/23)
400	305 (配布率76%)	21 (利用率7%)	6,400	5,536 (配布率87%)	1,198 (利用率22%)

※周遊割引券の集計は12月上旬のため現時点で利用枚数は不明

## 3 宿泊クーポン、周遊割引券取扱施設の状況

### (1) 宿泊クーポン取扱施設（宿泊施設）の声

- ・宿泊クーポン配布開始当日に100件以上の予約があり、予約が殺到して驚いた。
- ・元の予約をキャンセルして宿泊クーポンを取得し、より豪華な宿泊商品に振り替えていただいた。

### (2) 周遊割引券取扱施設の声

- ・11月10日の利用開始日以降、多くのお客様に利用いただいている。（土産店）
- ・松葉がにの購入に周遊割引券を利用いただいた。（海産物販売店）

# ジオパークのユネスコ正式プログラム化の決定について

平成27年12月1日  
緑豊かな自然課  
観光戦略課

平成27年11月17日に、フランスのユネスコ本部で開催された第38回ユネスコ総会において、これまで、ユネスコの支援事業として行われてきた世界ジオパークネットワークの活動が、ユネスコの正式プログラムに決定されるとともに、既存の世界ジオパークのユネスコ世界ジオパークへの移行が認められた。

山陰海岸ジオパークの活動にとって、大きな弾みとなるものであり、世界のモデルとなるユネスコジオパークをめざし、取組を一層進めたい。

## 1 ユネスコ正式プログラム化による主な変化

### (1) 認知度・発信力の向上

正式プログラムとなり、世界遺産と同じ位置づけとなることから、認知度・発信力の向上が期待される。

### (2) 審査の変化

[日本国内の窓口]

- ・国の機関によるユネスコへの推薦が必要となり、我が国においては、日本ユネスコ国内委員会が審査・推薦に関与することになる見込み

[世界審査]

- ・新たに設置されるユネスコの機関が審査を実施
- ・世界認定の最終決定は毎年4月に行われるユネスコ執行委員会で決定されることとなり、申請から決定まで1年半程度かかることとなる。

現行		ユネスコ正式プログラム化後	
10～12月	申請	10～11月	申請
1～4月	書類審査	12～1月	書類審査
5～8月	現地審査	2月	ユネスコ参加国への申請概要の紹介
9月	世界ジオパークネットワーク会議等に併せて開催する同事務局による審査会で認定の可否を決定し、同会議やアジア太平洋ジオパークネットワーク会議等で発表	5～8月	現地審査
		9月	ユネスコ世界ジオパーク評議会の審査による認定地域の勧告
		翌年4月	ユネスコ執行委員会で決定・発表

(APGN 山陰海岸シンポジウムの際のパトリック・マッキーバー・ユネスコ地球科学減災課長の講演による)

## 2 ユネスコ正式プログラム化の決定を受けての対応

### (1) ジオパークのユネスコ正式プログラム化記念式典の開催

ジオパークのユネスコ正式プログラム化の報告を受け、県庁議会棟前において、記念式典を開催した。

日時 11月18日(水) 午前9時～9時15分

内容 知事挨拶、来賓挨拶(西田鳥取大学名誉教授、藤縄副議長)、横断幕掲出等

### (2) 県民等への周知

#### ①横断幕等の掲示

掲示場所 鳥取県庁、鳥取市役所、岩美町役場、鳥取砂丘ジオパークセンター、山陰海岸学習館、渚交流館、あおや郷土館

#### ②(株)伊藤園と連携したユネスコ正式プログラム化記念清掃活動

(株)伊藤園が鳥取県で初めて実施する「お～いお茶『お茶で鳥取を美しく。』キャンペーン」と連携し、ユネスコ正式プログラム化記念の清掃活動を浦富海岸(岩美町)で実施した。

日時 11月21日(土) 午前9時から

参加者 岩美町民、(株)伊藤園社員、鳥取県職員、岩美町職員、山陰海岸ジオパーク関係者等

#### ③砂の美術館来場者40万人記念セレモニーでの広報活動

砂の美術館(鳥取市)の来場者40万人記念セレモニーに併せて、来場者に正式プログラム化の記念品、ピラ等を配布した。

日時 11月21日(土) 11時～11時30分

### (3) ユネスコ正式プログラム化記念事業(6,236千円)(11月県議会提案中)

- ・世界の模範となるジオパークを目指し、ユネスコ正式プログラム化の意義や地域連携のあり方をテーマとしたシンポジウムを開催。
- ・カヤック等の自然体験活動の指導者養成などエコツーリズムを担う人材を育成。
- ・次世代型エコツーリズムを推進するため、次年度以降に展開する低炭素型観光交通モデルの実証事業に向けた研究会を支援。

# 台湾・台南からのチャーター便の運航結果について

平成27年12月1日  
観光戦略課

台湾・台南空港から鳥取砂丘コナン空港へのチャーター便が11月13日(金)と17日(火)に2往復4便運航され、来県された142名の観光客の皆様をおもてなしするために、到着時に県民(「空の駅女子会」と連携した歓迎イベントを実施するとともに、同時に来県した台南地域の旅行社8社の県内視察や県内観光関係事業者14社との商談会を実施しました。

## 1. 歓迎イベント及びツアー日程

- (1) 日 時：平成27年11月13日(金) 12時50分～13時50分
- (2) 場 所：鳥取空港 国際線到着ロビー
- (3) 対 象：台湾(台南)からのチャーター便搭乗客(台湾人観光客)
- (4) 運航日程

月 日	便名	発着空港及び時刻(現地時間)	備考
11月13日 (金)	CI7730	8:30台南発 → 12:20鳥取着	11/17(火)折り返し便(鳥取着15:20→鳥取発16:20)にて台湾人旅行者は帰国
	CI7731	13:20鳥取発 → 16:00台南着	

(使用機材：チャイナエアライン中華航空(B737-800(席数155席))

- (5) 歓迎イベント(国際線到着ロビー)  
県民・県職員等のおもてなし隊及び着ぐるみ(コナン)による出迎え
- (6) 催行旅行社  
台湾側：遠達国際旅行社

[行程](4泊5日/うち鳥取県内2泊) 鳥取空港→白壁土蔵群・青山剛昌ふるさと館・コナン大橋→(県内泊)→[金沢マラソン参加・京都・大阪]→(県内泊)鳥取砂丘・砂の美術館→山陰松島遊覧→ショッピング→鳥取空港 日本側：農協観光鳥取支店
---

## 2. 台南市処長による平井知事表敬訪問

- (1) 日 時：平成27年11月13日(金) 16時45分～17時00分
- (2) 場 所：大山ロイヤルホテル
- (3) 相手方：台南市新聞及国際関係処長(呉堂成 ウー・タンチェン)、遠達国際旅行社代表取締役、中華航空台南支社経理 等
- (4) 結果概要：①鳥取県と台南市双方が紹介した。  
台南市から「農業・地理環境・温泉について共通点がある」旨の発言  
②今後の交流について意見交換を行った。  
台南市から「農業・観光分野で交流していきたい」旨の発言

## 3. 台南旅行社による鳥取県視察・商談会の実施

### (1) 視察概要

- ①来 県 者：台南地域の旅行会社8社
- ②期 間：11月13日(金)～11月17日(火)[4泊5日]
- ③結果概要：今後の本県を含めた旅行商品造成の促進を図るため、以下の日程で視察を実施した。
- ④成 果：12月1日現在、複数の旅行社が商品造成を計画中。

日程	内容	宿泊先
11月13日(金)	○青山剛昌ふるさと館～大山	県西部
11月14日(土)	○水木しげるロード～とっとり花回廊	県中部
11月15日(日)	○三徳山～燕趙園～20世紀梨記念館～白壁土蔵群	県東部
11月16日(月)	○鳥取砂丘・砂の美術館～商談会	県東部
11月17日(火)	○浦富海岸	-

### (2) 商談会概要

- ①開催日時：11月16日(月) 15時～17時
- ②場 所：ホテルモナーク鳥取(鳥取市永楽温泉町403)
- ③参加者：台湾旅行会社8社及び県内観光事業者(宿泊施設、観光施設等)14社
- ④成 果：今後の新規旅行商品造成企画の次のステージに向けて地元観光施設等との熱心な交渉の場となった。

## タイにおける知事トップセールスの結果概要について

平成27年12月1日  
観光戦略課

平井知事は、タイのバンコク都を訪問し、タイ労働省技能開発局、マヒドン大学・タイ工業連盟（医療機器）と、自動車、医療機器等の成長分野での人材育成の連携に係る覚書（MOU）の締結セレモニーの出席に併せ、タイ人訪日観光客数が本年9月現在で約54万人と過去最高を記録するなど堅調に増加している現状を踏まえ、現地テレビ局「Channel 3」、現地ラジオ局「J-channel」、地元英字新聞「ザ・ネイション」及び地元一般紙「タイ・ラット」での生出演、インタビュー収録を受け、鳥取県の魅力ある観光資源や特産物をタイの方々にPRを行うことにより、本県の知名度向上に向けて情報発信しました。

### 1 知事日程

日付	時間	日 程
11月19日 (木)	23:35	バンコク着  【バンコク都泊】
11月20日 (金)	7:30	現地テレビ局「Channel 3」の生出演及び収録（場所：Channel 3）
	10:30	タイ労働省技能開発局との覚書締結セレモニー（場所：タイ労働省）
	12:00	観光誘客関係者との意見交換（場所：バンコク都内）
	13:45	タイ工業省・アチャカ工業大臣 表敬訪問（場所：タイ工業省）
	15:30	マヒドン大学及びタイ工業連盟（医療機器）との覚書締結セレモニー （場所：在タイ日本国大使館）
	18:30	タイ・鳥取交流会（商工・観光関係者）（場所：バンコク都内）  【バンコク都内】
11月21日 (土)	10:30	現地ラジオ局「J-channel」のインタビュー収録（場所：バンコク都内）
	11:00	地元英字新聞「ザ・ネイション」のインタビュー取材（場所：バンコク都内）
	11:30	地元一般紙「タイ・ラット」のインタビュー取材（場所：バンコク都内）
	14:50	バンコク発

（時間は現地時間/タイの日本との時差は-2時間）

### 2 訪問団

平井伸治知事（商工関係：県内企業幹部（自動車、医療機器等））

### 3 各訪問先での概要

#### (1) 現地テレビ局「Channel 3」の生出演及び収録

- ・平井知事は、「Channel 3」の女性向け情報バラエティ番組である「Women to Women」の生放送にゲスト出演し、司会のニナさん、ガイさん、プーさん、プーンさんらに今が旬の松葉がに、王秋梨、富有柿などや、三朝ミスト、三朝ジェルなどを紹介して、鳥取県に行きたくくなるような観光誘客プロモーションを行った。
- ・同じ「Channel 3」の高視聴率の経済情報番組「ジョー ロー セタキ（和訳：世界経済にフォーカス）」の収録にも出演し、レポーターのアンさんの質問に答えながら、鳥取県のタイ人観光客の状況や、観光の魅力を紹介した。（11月27日放映予定）
- ・また、同局内で生放送を終了した直後のスタジオで、今タイで最も有名なキャスターであるソラユットさんと面談し、併せて番組の女性キャスターのパイさんに鳥取和牛肉などの魅力を紹介した。

(2) 観光誘客関係者との意見交換

- ・平井知事は、タイ旅行業協会（TTAA）最高顧問 アネーク シラバチャート氏を中心に、現在のタイにおける観光情報と鳥取向け旅行商品造成やタイチャーター便も含め意見交換を行った。
- ・アネーク最高顧問からは、意見交換の中で、タイ経済が減速し、航空路線の拡大にも歯止めがかかる中、訪日旅行の人気は依然として高い状態であることを考えれば、鳥取県への誘客はチャンスではあると述べた。

(3) タイ・鳥取交流会（商工・観光関係者との交流）

- ・タイ工業省、労働省、マヒドン大学、マスコミ関係者等、本県とタイと連携して事業を推進する商工、観光分野のタイ側関係者を招いた交流会を実施し、鳥取県の観光や食の魅力をアピールした。

(4) J-channelのインタビュー収録

- ・タイ初の24時間日本向け情報ラジオ番組（インターネット動画配信あり）であり、日本語、タイ語両方で放送し、日本に興味のあるタイ人や在タイ日本人のリスナーが多い「J-channel」の取材を受けた平井知事は、今が旬の松葉がに、王秋梨、富有柿などの特産物や、鳥取砂丘や大山、鳥取砂丘コナン空港や米子鬼太郎空港そして、ゲゲゲの鬼太郎や、名探偵コナンなど観光PRを行った。

（11月25日放送予定）

(5) 地元英字新聞「ザ・ネイション」及び地元一般紙「タイ・ラット」のインタビュー取材

- ・地元英字新聞「ザ・ネイション」の取材の中で、知事は、松葉がにや富有柿などタイ人にも人気の鳥取県の特産品を手にしながら紹介した。さらに、鳥取県の観光の楽しみ方として、鳥取砂丘や大山そして県内各地の温泉や、水木しげるロード、青山剛昌ふるさと館といった漫画、アニメにまつわる観光地を紹介した。（「ザ・ネイション」は11月掲載予定、「タイ・ラット」は12月1日付に特集記事として掲載予定）



Channel 3での生出演の様子



Channel 3で経済情報番組収録の様子



Channel 3で人気キャスターとの面談様子



J-channelでのインタビュー収録

## 副知事を団長とする交流協議団のジャマイカ派遣及び 駐ジャマイカ日本国大使来県結果について

平成27年12月1日  
交流推進課  
スポーツ課

### 1 ジャマイカに交流協議団を派遣

副知事を団長とする交流協議団が10月4日(日)から10日(土)の日程でジャマイカを訪問し、協議を行いました。

#### (1) ウエストモアランド県との協議結果【10月7日(水)及び8日(木)】

- ・10月7日(水)に県庁舎にてウエストモアランド県のモーア議長(首長)と協議し、友好交流を推進する方向で合意した。
- ・10月8日(木)に県議会議場にて鳥取県とウエストモアランド県の姉妹都市提携を進めるための協議覚書に署名した(別紙参照)。
- ・ウエストモアランド県の首長であるモーア議長は、早ければ平成28年3月を目途に来県する意向を示された。



#### (2) 在ジャマイカ日本国大使館 なかのまさのり 中野正則特命全権大使主催の夕食会での懇談結果【10月5日(月)】

- ・中野大使、モーア議長、ジャマイカ地方政府コミュニティ開発省のソープ事務次官と懇談した。
- ・現地時間9月30日(水)に行われた安倍首相とミラー首相の首脳会談を受け、日本とカリコム諸国間で初めてとなる姉妹都市提携に向け、鳥取県・ウエストモアランド県の両県で具体的に調整を進めていくことを確認した。
- ・両県の交流については、在ジャマイカ日本国大使館及びジャマイカ政府から協力・支援いただけることを確認した。
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるジャマイカ陸上チーム事前合宿において、鳥取県での開催を後押しいただくよう要請した。

#### (3) ジャマイカ陸上競技連盟との協議結果【10月6日(火)及び7日(水)】

- ・ジャマイカ陸上競技連盟のウォーレン・ブレイク会長ほかと懇談した。
- ・鳥取県とジャマイカとが陸上を通じた交流を推進していくことを確認した。
- ・平成28年3月にジャマイカの陸上大会(チャンプス大会)へ訪問団を派遣することを提案した。
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるジャマイカ陸上チーム事前合宿を鳥取県で開催いただくよう要請した。

### 2 在ジャマイカ日本国大使館の中野正則特命全権大使の知事表敬結果【11月9日(月)】

11月9日(月)に、ウエストモアランド県から本県への友好提携の申し出を仲介した中野大使が来県し、知事と面談されました。

- ・中野大使は、本県とジャマイカとの交流が一層深まっていくよう応援すること、早い時期に姉妹都市提携が実現するようにできる限り支援することを約束された。
- ・ジャマイカの首相や外相との面談時などで、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるジャマイカ陸上チームの事前キャンプの鳥取県内実施を後押しする意向を示された。



## 日本国鳥取県とジャマイカ・ウエストモアランド県の 姉妹都市提携を進めるための協定覚書

日本国鳥取県とジャマイカ・ウエストモアランド県は、両国間の友好・相互協力の精神のもとづき、両県の友好交流を促進し、日本・ジャマイカの両地域の友好協力を深く発展させるため、姉妹都市提携の準備を進めていくことに合意した。

ジャマイカの国民的スポーツ「陸上競技」のナショナルチームが2度にわたり鳥取県においてキャンプを実施したという縁、ジャマイカ国内でその縁を感じたウエストモアランド県が鳥取県に姉妹提携を呼びかけたこと、そして、9月30日の安倍晋三日本国内閣総理大臣とシンプソン＝ミラー・ジャマイカ首相の首脳会談を受けて、両県の行政機関、民間団体、県民間での交流を発展させ、両県の人々の間に友情の絆を築いていく。

両県は、平等互恵の原則に基づいて、文化、スポーツ、青少年、教育、経済など幅広い分野において、それぞれの特色を活かした交流を推進する。例として、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるジャマイカチームの鳥取県での事前キャンプ誘致に向けた協力など、相互の発展に寄与していくとともに、農業経営の多角化、漁業の生産性向上、クリーンエネルギー開発などの地域経済の活性化に向けた協力を支援する。

両県は、引き続き緊密に協定を継続するとともに、双方で必要な手続きを行い、早期に姉妹都市提携を締結できるよう努めていく。

本覚書は日本語と英語により作成することとし、それぞれ1通を保管するものとする。

2015年10月8日



日本国鳥取県副知事

林 昭男



ジャマイカ・ウエストモアランド県議長

バーテル・モーア

# バードスタジアム国際交流基金の取崩しについて

平成27年12月1日  
交流推進課  
スポーツ課

スポーツ振興及びバードスタジアム改修のため、鳥取市から協議のあったバードスタジアム国際交流基金（公益財団法人鳥取市公園・スポーツ施設協会に設置）の取崩しについて、下記のとおり同意することとしました。

## 記

### 1 基金取崩しの内容

#### (1) 取崩し理由（鳥取市、（公益財団法人鳥取市公園・スポーツ施設協会））

バードスタジアムは、県高校総体や少年サッカー大会等をはじめ、グラウンドゴルフ、結婚式場など幅広く市民に活用され、かつ国際試合やＪリーグ公式戦（ガイナレ鳥取のホームスタジアム）が開催されるサッカーを中心としたスポーツ振興の拠点施設となっている。

一方、平成7年の建築から20年が経過し老朽化が進んでいる実情がある。このような中、平成30年には全国中学校サッカー大会の開催が予定されており、国際試合やＪリーグ公式戦会場利用や2020年東京オリンピック・パラリンピックでのキャンプ地誘致などによるスポーツ振興を図る上で（公財）日本サッカー協会（JFA）等が定める基準を満たしたスタジアム整備の必要があり、整備の財源としてバードスタジアム国際交流基金を充当したい。

#### (2) バードスタジアム改修計画

平成27年度：空調設備更新（19,489千円） ※全額基金充当

### 2 県の考え方

国際親善試合やＪリーグ公式戦の開催はサッカーに携わる青少年にとって励みとなり、将来にわたってのスポーツ振興に寄与するものであり、そのための施設整備についても基金の目的に合致するものとする。よって、国際大会等を支障なく開催するため、基金の取崩しに同意する。

#### 【参考】バードスタジアム国際交流基金の概要

- (1) 造成年月日 平成7年11月14日
  - (2) 造 成 額 400,000千円（現在の基金残高 120,933千円）  
（内訳）鳥取県 200,000千円 鳥取市 200,000千円
  - (3) 基金管理主体 （公財）鳥取市公園・スポーツ施設協会
  - (4) 過去の取崩し状況
    - (H14) 63,000千円：ワールドカップ2002の「エクアドル」チームの受入れのため
    - (H22) 40,000千円：ガイナレ鳥取のＪ2昇格に必要な財政基盤強化のため
    - (H23) 176,067千円：バードスタジアムの芝生、大型映像装置、照明改修のため
- ※ 基金の取崩しには、知事の同意が必要

## 第 20 回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果について

平成 27 年 12 月 1 日  
交 流 推 進 課

10 月 22 日（木）に大韓民国江原道で開催された「第 20 回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」の結果は以下のとおりです。

### 1 サミット本会議の概要

- (1) 日 時 10 月 22 日（木）午後 1 時 30 分から午後 4 時 15 分まで
- (2) 場 所 襄陽ソルビーチホテル（大韓民国江原道襄陽郡）
- (3) 参加者 韓 国 江 原 道 崔文洵（チェ・ムンスン）知事  
中 国 吉 林 省 庄巖（チュアン・イエン）副省長  
ロシア沿海地方 スホフ・アレクセイ副知事  
モンゴル中央県 ドルジ・バヤルバト知事  
日 本 鳥 取 県 平井伸治知事
- (4) テーマ 平和と繁栄の中心、北東アジアの新たな飛躍！－北東アジア物流ネットワークの活性化策－

### (5) 結 果

#### ア 平井知事の提案事項（自由討論にて）

- これまで 20 回のサミットで整備されてきたインフラを活かし、5 地域がそれぞれゲートウェイになれるよう航路・航空路を繋いでいく。中央政府の規制緩和を進めるよう求めるとともに、ゲートウェイ構築のために今行動するときである。
- 平昌冬季オリンピックに関連する観光誘客は、開催前の今が最大のチャンスであり、各地域が協力し合ってプロモーションを行っていかねばならない。例えば、平昌冬季オリンピックにおいて各地域が芸能を披露できる機会を設けていただければ、協力させていただきたい。
- これらの提案に対して、崔文洵知事から平昌冬季オリンピックで「鳥取県の日」を設け、そこで各地域の芸能や文化、食等を紹介する場を設けたいとの回答があった。

#### イ 合意結果（共同宣言文は別紙のとおり）

- 各地域の代表は、江原道の提案で創設され今年で第 20 回を迎えたこの地方政府サミットが北東アジア地域における持続的な経済発展に大きな役割を担っていることを高く評価するとともに、産業・通商・貿易・投資・観光・エネルギー分野等において共同プロジェクトの推進を相互に提案し、これを積極的に検討していくこと、青少年・スポーツ・文化・芸術・学術等の人的交流と教育・環境保全・保健医療等の分野において二地域間又は多地域間の交流をより一層活発に推進することで合意した。
- また、環日本海定期貨客船の維持・発展、襄陽－米子／鳥取間等の航空路線の開設、GTILCC（広域図們江開発計画 北東アジア地方協力委員会）による新たな交通ルートの開発等を積極的に推進していき、交通インフラと物流ネットワークの構築のため最善を尽くすことで合意した。
- 鳥取県で開催される「2016 ワールドトレイルズカンファレンス」（2016 年 10 月）、「関西ワールドマスターズゲームズ 2021」（2021 年 5 月）を含む各地域で開催されるさまざまなイベント等に対して、積極的に協力しながら支援を行うことで合意した。特に、江原道が開催する 2018 平昌冬季オリンピックの成功に向けて、5 地域が一致団結し、支援と協力をしていくことで合意した。
- 次回サミットの開催地域が中国吉林省に決定した。

## 2 二地域間会談の概要

### (1) 江原道 崔文洵 (チェ・ムンスン) 知事との会談

- 平井知事は、環日本海定期貨客船航路の維持・発展、平昌冬季オリンピックを活用した観光誘客、両地域の観光プロモーション、原州医療機器テクノバレーを活用した両地域企業間の経済交流の促進、来年開催の「ワールドトレイルズカンファレンス (WTC)」へのウォーカー参加に対する協力を要請した。
- 崔文洵知事は今後、江原道の環日本海定期貨客船の維持・発展のため可能な支援を行っていく意向を表明した。

### (2) 吉林省 庄巖 (ヂュアン イェン) 副省長との会談

- 平井知事は、GTILCC ロジスティック委員会の取組みに対する協力、大学間交流、児童・生徒によるスポーツ交流、民間企業による経済交流の促進に対する協力を要請した。観光交流局長から、WTC へのウォーカー参加に対する協力を要請した。  
また、沿海地方政府に対する GTILCC ロジスティック委員会への参加の働きかけについて協力を要請した。
- 庄巖副省長は、環日本海定期貨客船航路の琿春までの延伸とそれによる観光分野での協力に対する期待を表明した。また、GTILCC ロジスティック委員会のパイロット輸送実施について、吉林省内に進出している日本企業の商品輸送を提案した。(⇒これに対し、平井知事は、両地域が協力して企業へ働きかけることを提案した。)

### (3) 中央県 ドルジ・バヤルバト知事との会談

- 平井知事は、中央県で高等学校に日本語クラスが開設されたことへの謝意、そして、交換留学、医療分野交流などで引き続き協力していくことを述べた。
- バヤルバト知事は、日本語クラスの卒業生が日本に留学し、将来、中央県を担う人材となることへの期待を述べ、運営面での問題解決のために鳥取県からのアドバイスを依頼した。(⇒これに対し、平井知事は協力していく意向を伝えた。)

### (4) 沿海地方 スホフ・アレクセイ副知事との会談

- 平井知事は、鳥取県設置のビジネスセンターを活用した経済交流や青少年スポーツ交流等を通じた交流促進、ウラジオストク港の規制緩和、WTC へのウォーカー参加、来年の友好交流 25 周年記念事業の実施に対する協力を要請した。  
また、2016 年実施の「鳥取ウィーク」に対する協力、北東アジアの物流円滑化のための GTILCC ロジスティック委員会への参加を要請した。
- スホフ副知事は、サミット本会議での平井知事の提案に対して可能な取組みを検討すること、観光連携において環日本海定期貨客船航路の維持・発展が不可欠である認識を述べた。そして、GTILCC ロジスティック委員会の取組に対しても協力していく意向を述べた。また、友好交流 25 周年記念事業が成功裡に開催できるよう職員に指示することを約束した。

## 3 参考：平井知事日程

月 日	日 程
10月21日(水)	羽田空港 → 金浦空港
10月22日(木)	09:00-09:55 「第17回北東アジア美術作品展示会」開幕式・観覧 10:00-10:10 「GTI 国際貿易・投資博覧会」記念植樹式 10:30-12:00 「GTI 国際貿易・投資博覧会」開幕式 13:30-16:15 サミット本会議、共同宣言文署名 16:30-18:30 二地域間首長会談 19:00- サミット 20 周年記念レセプション
10月23日(金)	金浦空港 → 羽田空港

## 第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット

### 共同宣言文

2015年10月22日、大韓民国江原道で開催された「第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」において、大韓民国江原道知事 崔文洵、日本国鳥取県知事 平井伸治、モンゴル国中央県知事 ドルジ・バヤルバト、中華人民共和国吉林省副省長 庄巖、ロシア連邦沿海地方副知事 アレックセイ・スホプは、地域間の相互協力及び友好関係に基づき、北東アジア地域の共同繁栄のため幅広い意見交換を行い、次の事項について合意した。

1. 私たちは、1994年、江原道の提案で創設され今年で第20回を迎えた「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」が5地域政府の相互尊重・互恵平等・平和共存・善隣友好の精神の下、さまざまな分野において交流成果を成し遂げることに寄与し、また、20年間の交流と協力が5地域の会員政府の繁栄・福祉増進と北東アジアの平和と安定に寄与してきたことで意見が一致した。
2. 私たちは、「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」が北東アジア地域における持続的な経済発展に大きな役割を担っていることを高く評価し、経済・産業・通商・貿易・投資・観光・エネルギー分野等において共同プロジェクトの推進を相互に提案し、これを積極的に検討していく。
3. 私たちは、東海一境港－ウラジオストクを結ぶ海上航路の維持・発展と長春－襄陽、襄陽－米子／鳥取間の航空路線の開設、GTI北東アジア地方協力委員会におけるパイロット輸送検証を通じた新たな交通ルートの開発等を積極的に推進していき、地域間の輸送が円滑になるよう交通インフラと物流ネットワークの構築のため最善を尽くす。
4. 私たちは、青少年・スポーツ・文化・芸術・学術等の人的交流と教育・環境保全・保健医療等の分野において二地域間又は多地域間の交流をより一層活発に推進し、相互信頼に基づいた理解と協力を強化していく。

5. 私たちは、次のとおり各地域で開催されるさまざまなイベントや国際事業の開催を歓迎し、積極的に協力しながら支援を行う。

- (1) 江原道で開催する「2018平昌冬季オリンピック及び冬季パラリンピック大会」(2018年2～3月)
- (2) 鳥取県で開催される「2016ワールドトレイルズカンファレンス」(2016年10月)、「関西ワールドマスターズゲームズ2021」(2021年5月)
- (3) 吉林省で開催される「第11回北東アジア博覧会」(2017年9月)
- (4) 沿海地方で開催される「太平洋国際観光展(PITE)、2016東方経済フォーラム」
- (5) 中央県で開催されるモンゴル民族伝統「ナーダム祝典」(2016年7月)

特に、江原道が開催する2018平昌冬季オリンピックの成功に向け、5地域政府が一致団結し、惜しみない支援と協力をしていくことで合意する。

6. 「第21回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」は、2016年、中華人民共和国吉林省で開催することとする。

この共同宣言文は韓国語、中国語、日本語、ロシア語、モンゴル語の5カ国語で作成し各地方政府で1部ずつ保管する。

2015年10月22日

大韓民国江原道知事

日本国鳥取県知事

モンゴル中央県知事

中華人民共和国吉林副省長

ロシア連邦沿海地方副知事

崔文洵  
平井伸治  
莊伊  
S. Amul

# 鳥取砂丘コナン空港グランドオープンについて

平成27年12月1日

まんが王国官房

本年3月1日に「鳥取砂丘コナン空港」としてリニューアルした鳥取空港について、今年度も引き続き愛称にふさわしい空港となるよう整備を進めており、12月5日に完成披露会を行います。

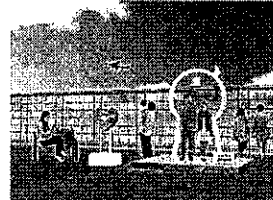
## 記

### 1 今年度整備の概要

空港内に19か所の展示装飾を追加するとともに、キービジュアルを活かした案内スタッフのユニフォームや記念撮影コーナー、空港内を巡り謎解きするクイズラリーを新設するなど楽しめる空港として充実した。

#### <見どころ>

- ・喫茶ポアロで珈琲を味わう毛利小五郎等身大フィギュア設置
- ・怪盗キッド等身大フィギュア設置
- ・写真撮影用メモリアルスポット設置
- ・ミステリークイズラリー「黄金の二十世紀梨を追い」新設
- ・空港でしか見ることでできないスペシャル映像上映



### 2 グランドオープン・完成披露会

#### (1) 日時

平成27年12月5日(土) 9:00~11:00

#### (2) 会場

鳥取砂丘コナン空港国際会館

#### (3) 内容

##### ア 完成披露会 (9:00~9:30)

「あの、鳥取砂丘コナン空港がさらにパワーアップ!!

完成披露、鳥取砂丘コナン空港グランドオープン」

- ・スペシャル映像に出演しているテツ&トモと知事がトークショー形式でパワーアップした装飾を紹介

##### イ 鳥取砂丘コナン空港ミステリー『黄金の二十世紀梨を追い』(9:30~10:30)

- ・空港内をラリーをしながら装飾を楽しむ謎解きゲームの初お披露目を実施
- ・参加者には初回限定ノベルティを配布(コナングッズ、限定缶バッジ)

##### ウ その他

- ・物販、飲食店等の出店トライアルを調整中

# 名探偵コナン 鳥取ミステリーツアーの実施結果について

平成27年12月1日  
まんが王国官房

JR西日本と連携して今春4月29日から実施してきた「名探偵コナン鳥取ミステリーツアー」が11月23日で終了しました。原作者青山剛昌先生のふるさと鳥取県が舞台のツアーとして好評で、観光誘客に寄与するとともに、全国に向けて“名探偵コナンといえば鳥取県”と印象づけることができました。

## 1 開催概要

- (1) 主 催 名探偵コナン鳥取ミステリーツアー実行委員会（事務局：県まんが王国官房）
- (2) 実施期間 平成27年4月29日～11月23日
- (3) イベント概要

参加者はJRで来県し、鳥取・倉吉・米子駅で捜査ガイドブックを受け取った後、チェックポイントの5箇所を捜査し、犯人や動機、事件の裏に隠された謎を解く体験型ツアー。必ず訪問する「チェックポイント」のほか「スペシャルお楽しみポイント」・「お楽しみポイント」を設定して県内周遊を促進。

### 【チェックポイント】5箇所

白壁土蔵群（観光案内所及び大岳院の二カ所）、鳥取二十世紀梨記念館なしっこ館、とっとり花回廊、砂の美術館 or 三朝温泉 陣所の館（2箇所のうちの1箇所）

### 【スペシャルお楽しみポイント】2箇所

青山剛昌ふるさと館、コナン駅（由良駅）

### 【お楽しみポイント（スタンプラリー）】7箇所

道の駅神話の里白うさぎ、かっこ館、はわい温泉・東郷温泉観光案内所、中国庭園燕趙園、塩谷定好写真記念館、三徳山三佛寺、米子市観光センター（皆生温泉旅館組合）

## 2 開催結果

- (1) 参加者数 12,300人（速報）  
地域別の内訳（首都圏10%、北陸・近畿圏52%、中京圏7%、中四国2.6%、九州圏5%）
- (2) ミステリーツアーにあわせて整備した二次交通の利用者数  
○コナン駅（由良駅）～青山剛昌ふるさと館 間のシャトルバス（期間中毎日）  
8,811人（1日平均42.2人）  
○県中部圏域で実施した名探偵コナンミステリーループバス（夏休み及び期間中の土日祝日）  
7,492人（1日平均78.9人）
- (3) ミステリーツアーによる誘客効果  
・期間中の青山剛昌ふるさと館の入館者数が過去最高となった。（77,664人）  
・大半の参加者が県内で1泊以上し、三朝温泉、はわい温泉を中心に宿泊者数の増加に寄与した。

## 3 情報発信効果

- (1) 各種プロモーションによる情報発信
  - ・全国のJRでの駅貼りポスター、車内吊りポスター
  - ・JRや旅行会社におけるパンフレットの配布、ツアー告知映像の放映
  - ・ツアー専用ホームページによる情報発信
  - ・週刊少年サンデーや関西ウォーカー等への情報誌への出稿
  - ・県内情報番組での告知PR
  - ・メディアキャラバンの実施（東京、大阪、名古屋、博多、中四国）
  - ・プレスツアーの実施（首都圏、関西圏、中京圏、中四国、九州）



- ・団体ツアーの初開催
  - ・東京本部、関西本部、名古屋事務所などと連携した各種イベント等における広報
- (2) 鳥取県を舞台としたアニメ前後編全国放送
- 放送日 11月28日(土)及び12月5日(土)午後6時～6時半 日本テレビ系列全国ネット
- 番組内容
- ミステリーツアーは、自ら謎を解いて犯人を推測して応募する仕組みであり、ツアー参加者は最後まで犯人はわからない。テレビアニメで、二週にわたってミステリーツアーの鳥取編が全国放映され、その中で犯人や犯行動機などがはじめて明らかにされる。
- 鳥取県の観光地を舞台とした番組内容で、ツアーに参加した人もしていない人も楽しめる。

#### 4 ミステリーツアーでのおもてなし事例

- (1) コナンイラスト列車の増設運行  
ミステリーツアーオープニングにあわせて新しいピンクの名探偵コナンイラスト列車の出発式を実施
- (2) コナン駅(由良駅)へのとっとりライナーの停車回数増(3回→4回)
- (3) 青山剛昌ふるさと館におけるコナン君のおもてなし
- (4) JR鳥取駅、倉吉駅での砂像風フィギュアなどによるおもてなし



# アジアトレイルズカンファレンス（ATC）鳥取大会の開催結果について

平成27年12月1日  
中部総合事務所  
観光戦略課

10月に鳥取県中部で開催した「アジアトレイルズカンファレンス（ATC）鳥取大会」の結果及び来年開催する「ワールドトレイルズカンファレンス（WTC）鳥取大会」の概要について報告します。

## 1 ATC鳥取大会の概要

- (1) 開催期日：平成27年10月16日（金）～18日（日）
- (2) 主催：WTC鳥取大会実行委員会（31団体）、アジアトレイルズネットワーク（19団体）
- (3) 特別後援：アシックスジャパン、新日本海新聞社
- (4) 後援：観光庁、日本ウォーキング協会、全日本ノルディック・ウォーク連盟等17社
- (5) 協賛：43社
- (6) 大会目標：
  - ① 個人で回れる、回りたくなるようなコースづくり
  - ② 旅行商品のメニューとしても活用できる仕組みづくり
  - ③ 地域の魅力とのコラボ
  - ④ 国内外ウォーカーの誘客

## 2 開催結果

- (1) 参加者数：延べ1,250人（目標：延べ1,200人）

内容	海外	国内	合計	(国内参加)
基調講演	54	196	250	茨城、千葉、石川、静岡、京都、大阪
ウォーキングフェスティバル（2日間）	100	900	1,000	兵庫、鳥取、島根、岡山、広島、山口、 香川、愛媛、高知、福岡、熊本
合計	154	1,096	1,250	

※海外参加者内訳：韓国：94人、中国：5人、ロシア1人

（アジアトレイルズネットワーク48人、県友好交流地域6人、韓国旅行社ツアー41人、韓国マスコミ5人）

- (2) 全体日程：

日時	内容	開催地
10/16 （金）	基調講演 「スポーツイベントを通じた地域創生と街づくり」 ／アシックスジャパン（株）松下直樹取締役	倉吉市 （倉吉未来中心等）
	事例発表 「ウォーキングを通じたアジア地域のネットワークと協力」 ／社団法人済州オルレソ・ミョンスク理事長	
	アジアトレイルズネットワーク総会	
	歓迎レセプション	
10/17 （土）	ウォーキングフェスティバル	湯梨浜町
	エクスカーション ※アジアトレイルズネットワークを対象	琴浦町、北栄町
10/18 （日）	ウォーキングフェスティバル	倉吉市、三朝町
	エクスカーション ※アジアトレイルズネットワークを対象	倉吉市、三朝町

※倉吉未来中心において企画展示（ATC参加団体・鳥取県のスポーツツーリズム等の紹介）を同時開催した。

(3) 参加者の主な意見：

① アジアトレイルズネットワーク

- ・ウォーキングフェスティバルの地元住民によるおもてなしが素晴らしかった。歩くだけでなく、触れ合いを通じ、地元の方の生活が分かるようなコース設定が良かった。
- ・未舗装の道、路地、山道を多く歩きたい。
- ・ウォーキングコース上の案内表示が全体的に不足している。

② 一般参加者

- ・ウォーキングコース上のおもてなしが良かった。
- ・自然を満喫できるコースがすばらしかった。ウォーキングと観光ができて楽しかった。
- ・ウォーキングコース上に距離表示が欲しかった。分かれ道に案内標示が必要だと思う。

③ アジアトレイルズネットワーク議長（済州オルレソ・ミヨンスク理事長）

- ・多くの方の努力により素晴らしい大会だった。特にレセプションは、これまで何度も様々なレセプションに参加したが、一番楽しく素晴らしいものだった。日本の伝統と現代が融合していた点が良かった。

(4) 地域の魅力とのコラボの結果：

① ウォーキングコース上でのおもてなし、記念品の製作、コースサイン整備

主な実施主体	内 容
倉吉観光マイス協会	ちゃんこ鍋・銘菓・お茶の提供、コースサイン整備
日本遺産三徳山三朝温泉を守る会	ゆかりご飯・なめこ汁・梨・りんごの提供、足湯の提供、タンブラー製作、文化財・観光ガイド、トイレ表示
ゆりはま天女おもてなしウォーク実行委員会	松崎駅周辺の市（いち）の出版、梅酢ジュース・温泉たまご・しじみ汁・梨の提供、文化財・観光ガイド
北栄町観光協会	障がい者作業所とのコラボの手焼きせんべい「フレンズリング」製作
琴浦町観光協会	観光シンボル入り金太郎飴「琴浦のあめちゃん」製作
NPO法人未来	中部市町マスコットキャラクター入りマフラータオル・ウォーカー用オリジナルスタンプ製作
鳥取看護大学	「まちの保健室」の設置

② 地元ボランティア等の協力

- ・運営・おもてなしボランティア延べ100人（うち高校生30人）、通訳ボランティア延べ20人

### 3 WTC鳥取大会の概要

- (1) 開催期日：平成28年10月14日（金）～17日（月）
- (2) 主 催：WTC鳥取大会実行委員会
- (3) 会 場：鳥取県中部
- (4) テー マ：「歩いて 癒やされる」
- (5) 内 容：記念講演、シンポジウム、ウォーキングフェスティバル、エクスカージョン、交流会等
- (6) 参加目標：延べ4,000人
- (7) 今後の取組：特色あるウォーキングコースの早期設定、国内外へのプロモーション、コースサインの整備  
福祉・健康・学校関係者との連携

前回大会（平成27年1月15日～17日 於：韓国済州島）の海外からの参加：18カ国45団体

（アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、韓国、ギリシャ、スイス、スペイン、台湾、中国、デンマーク、トルコ、日本、ネパール、マカオ、南アフリカ、レバノン、ロシア）

